

《担当者名》○ 歯学部教授／越野 寿 歯学部教授／會田 英紀

歯学部准教授／廣瀬 由紀人 歯学部准教授／豊下 祥史 歯学部准教授／川西 克弥 歯学部講師／仲西 康裕

歯科衛生士長／五十嵐 陽子

【概 要】

臨床実習を通して補綴診療の補助と患者指導を実施し、講義で習得した知識を復習し実習に活かしていく。また、無歯顎補綴および欠損補綴の治療的あるいは予防的な意義と有床義歯の在り方についての理解を深め、有床義歯補綴の診査・診断、製作・装着および装着後の監視・処置などに関して、診療補助および患者指導の方法等を習得する。特に、補綴診療に使用される各種材料や器具の取扱とその管理について習得する。実習に際しては、常に歯科医師との連携を大切に、患者への配慮を怠らない。

【学修目標】

クラウン・ブリッジの補綴に関する知識を習得している。

補綴治療の流れを良く理解している。

補綴治療の準備や補助が十分できる。

クラウン・ブリッジの補綴治療に必要な器具を取扱える。

クラウン・ブリッジに関して患者指導ができる。

有床義歯補綴に際して使用される器具・材料について説明できる。

有床義歯補綴に際して使用される器具・材料を適切に取り扱える。

有床義歯補綴に際して、各診療ステップで必要となる器具を準備できる。

有床義歯補綴に際して、各診療ステップで適切な診療補助が行える。

部分床義歯患者に対して、残存歯の口腔清掃指導が行える。

全部床義歯および部分床義歯の義歯清掃指導が行える。

全部床義歯および部分床義歯の取り扱い方法についての指導が行える。

即時義歯、暫間義歯、治療義歯などの治療目的により名称の異なる義歯、また、オーバーデンチャー、インプラント義歯、顎顔面補綴装置などの特殊な義歯について理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	口腔清掃指導 クラウン・ブリッジの支台歯形成と印象採得、暫間被覆冠装着・経過観察の補助と見学 クラウン・ブリッジに関連する器具の名称と取扱 無歯顎補綴・欠損補綴における外来処置およびその関連器具の名称と取り扱い 診査、診断、印象採得、咬合採得、人工歯の選択、義歯のろう義歯の試適、装着、経過観察 心身障害者の診療 高齢者の診察	● 残存歯および義歯の清掃方法を理解し、症例に応じた口腔清掃指導方法を学修する。 ● 補綴治療の流れを理解し、教科書で習得した知識を実際に活用する。 ● 患者が治療を受ける治療台の取扱を十分に理解し、クラウン・ブリッジの補綴治療に用いる器材の名称とその取扱を覚えて治療が円滑に進行するようにする。 ● 全部床義歯・部分床義歯の製作術式を理解し、それぞれの製作・装着ステップにおいて使用される器具・材料の名称および準備法と取り扱い法を習得する。 ● 高齢者ならびに心身障害者の診療を通して、それぞれの特殊性ならびに対応時の注意事項などを学修する。	越野 寿 會田 英紀 廣瀬 由紀人 豊下 祥史 川西 克弥 仲西 康裕 五十嵐 陽子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

(1)知識技術

(2)実習態度

(3)身装

各（１）～（３）の総合評価をもって実習の成績とする。

【教科書】

赤川安正 他 編 「咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴 第2版（最新歯科衛生士教本）」 医歯薬出版 2020年

【参考書】

佐藤 亨 他 著 「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学」 クインテッセンス出版 2012年

【学修の準備】

・実践、介補、見学を行う症例について、その内容をインストラクターから事前に聞き、その症例に関わる内容を復習しておくこと。（60分）

【実務経験】

《歯科医師》越智 守生、越野 寿、會田 英紀、廣瀬 由紀人、豊下 祥史、川西 克弥、仲西 康裕
《歯科衛生士》五十嵐 陽子

【実務経験を活かした教育内容】

歯科補綴学は、歯の欠損により喪失または低下した機能と外観の回復をはかるとともに、咀嚼系の異常を予防することに関する理論と技術を研究する学問で、歯学としては特徴の多い重要な臨床学科である。したがって、学理にのっとった教育内容と歯学全般にわたる幅広い知識に立脚した臨床実務を背景とした経験談が対をなすことで優れた教育成果が期待できる内容となっている。